

二〇一九年度 大学院 (修士課程) 自己推薦入学試験問題 (実践真宗学研究科)  
(科目名: 専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2018年10月20日(土)

問一 次の語句を説明しなさい。(罫線の解答用紙に記入のこと)

- (1) 二種回向
- (2) 悪人正機

問二 次の漢文を書き下し文にし、簡単に意訳しなさい。また、和讃を意識しなさい。

(罫線の解答用紙に記入のこと)

- (1) 吾誓得仏 普行此願 一切恐懼 為作大安
- (2) 極重悪人唯称仏 我亦在彼摄取中 煩惱障眼雖不見 大悲無倦常照我
- (3) 本願力にあひぬれば  
むなしくすぐるひとぞなき  
功德の宝海みちみちて  
煩惱の濁水へだてなし

問三 次の文を読み、著者の伝えたいことを簡潔にまとめなさい。次に、どのようにすれば、宗教者の対話が進み、互いに協力しあうことができるかについて、あなたの考えを述べなさい。(四百字～六百字程度 マス目縦書の解答用紙に記入のこと)

【引用部分は削除しています】

大谷光真著『世の中安穏なれ—現代社会と宗教—』中央公論社、二〇〇七年

得点

二〇一九年度 大学院 (修士課程) 自己推薦入学試験問題 (実践真宗学研究科)  
(科目名: 小論文)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問一 現代社会において、宗教者が取り組むべき課題は何が、また自分はそれにどう取り組もうと考えるか、今日のグループ討論をふまえて、具体的に論述しなさい。  
(八百字～千字程度 マス目縦書の解答用紙に記入のこと)

2018年10月20日 (土)

得点	
----	--